

精度と耐久性を誇る計測機で お客さまの信頼を獲得

主力製品は圧力や温度を測る工業用の計測機、その心臓部はブルドン管です。160年前のシンプルでアナログな技術ですが、精度とコストでいまだにこれを越えるものはありません。近年はデジタル化したセンサーシステムが自動的に計測する方式が増えていますが、震災時のように電源が落ちてしまうと瞬時に機能を失います。しかしメカニカルな計器なら、現場で針を確認すればデータを収集することができます。どんなに時代が進んでも、アナログ計測機の重要性はなくなりません。

世界のトップクラスの計測機会社、ASHCROFT社の製品を扱うのも技術重視の表れ。国内のお客さまの要望を膨大な仕様書にまとめて発注し、設置から稼働まで請け負えるのは、同社の高い技術力の証明です。

汎用の計測機の生産がどんどん海外へ移転していく中、岡田計器製作所ではその技術力を駆使し、高価でもそれを上回る高い精度と耐久性を備えた製品で、お客さまの信頼を勝ち取っています。

株式会社岡田計器製作所

www.okadakeiki.co.jp

代表者 岡田 延孝
所在地 世田谷区楼上水3-11-5
設立 昭和24年(1949年)
主な事業 計測器の製造、販売
連絡先 ☎03-3303-2268



計量法に定められた圧力の基準器で正確に検査する。品質管理は極めて厳しい



「計測機の精度が安全に直結するので検査は重要。ミスを出さないことが社会貢献」と語る、勤続40年のベテランの油井さん

ここがすごい!! 振動を克服した高性能圧力計の開発

振動で針が振れて正確な数字が読みづらい、機構が壊れやすい、というこれまでの圧力計の問題点を解決したのが、岡田延孝会長の手がける振動に強い圧力計。ブルドン管の先端にバネを仕込んだり、歯車を非接触のマグネットに変更するなどの、難しい工程を克服し免震構造を完成させました。時間もコストもかかるが、高度な技術で勝負する製品を開発することが日本のものづくりへの貢献になる、と力強く語る岡田会長です。



ポンプやモーターのそばに設置しても、針が振動せず正確な数値を示す振動に強い圧力計

フランス人ブルドンが発明したブルドン管、160年前の技術が今も生きている



緊急の修理にも即応できるよう、各種のブルドン管を常備している



VOICE 大事な何でも見てみる

学校帰りによく近くの下駄屋さんをのぞきに行きました。板を削ったり、穴を開けて鼻緒を付けたり、ただの板が下駄に変わっていくのがすごく面白かった。自分で作らなくても最初は見るだけでいい、ものが完成していく喜びを感じるのがとても大切です。



岡田延孝代表取締役会長